

## 2022年度 京都大学フィールド科学教育研究センター 舞鶴水産実験所 公開実習「魚類生態学実習」実施要項

### 1. 授業科目：

〔魚類生態学実習〕

実習の履修後に「実習修了証」を発行する。実習修了証にもとづく単位認定の可否については所属する大学の教務・学務担当に照会すること。なお、本実習は2単位相当としている。実習期間中は水産実験所の宿泊施設に合宿する。実習の詳細については次頁「**1.1. 実習内容**」を参照すること。新型コロナウイルスの影響により予定を大幅に変更する可能性がある。

### 2. 実施施設：京都大学フィールド科学教育研究センター 舞鶴水産実験所

※自家用車等での来所は認めません。

### 3. 実施期間：2022年9月20日（火）～9月25日（日）

### 4. 対象学生：学部生の全年次（文系・理系を問わない）。京大生も受講可。

### 5. 定員：10名

\*新型コロナウイルスの感染状況を踏まえて、6名程度に変更の可能性あり

### 6. 新型コロナウイルス（COVID19）感染拡大予防：

京都大学の感染拡大予防マニュアルに従うとともに、舞鶴水産実験所の特性を考慮した対策指針に則り、今年度は特別に以下の対策のもと実習を実施する。ただし、緊急事態宣言、京都大学の方針、気象警報の発令などにより実習を中止する可能性がある。場合によっては、実習期間中であっても中止となる可能性もある。

京都大学新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う活動制限ガイドライン（以下、活動制限ガイドライン）のレベルによって実習日程を変更する（実施2週間前までに決定し連絡する）。

<http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/about/foundation/coronavirus/>

### 日程と内容：

- ・宿泊期間を短縮するため、データ解析やレポート作成は、各自で行う
- ・教員やTAが適宜オンラインで指導を行う

### 参加条件：

- ・実習前1週間、健康に異常がなく、海外渡航やCOVID19感染者との濃厚接触もないこと
- ・実習前48時間以内に抗原検査キットにより陰性が確認されていること
- ・健康以外の理由により、キャンセルする可能性がほとんどないこと

\*異常：発熱（平熱より高い，37.5度以上を目安），咳，咽頭痛，倦怠感，味覚障害等，  
COVID19感染が疑われる症状

#### 生活様式：

- ・各自，マスクと体温計を持参する
- ・体温を1日1回測定して異常が認められた場合はその日の担当教員に報告する
- ・食事は個別にとる
- ・宿泊棟の部屋やシャワーブースは一人ずつ決められた場所を使用し，各自清掃する
- ・体調に異常が認められた場合は家族等に迎えに来てもらう

#### 7. 必要提出書類：

- ・受講願
- ・学生教育研究災害傷害保険及び付帯賠償責任保険加入証明書（領収書等のコピーでも可）

#### 8. 申込締切：2022年8月20日（土）必着

#### 9. 参加費用：

##### <活動制限ガイドラインがレベル0の場合>

約8，100円（これに含まれるのは実習6日目までの昼・夕食費と宿泊費．他の食費，交通費は各自で準備のこと）

##### <活動制限ガイドラインがレベル1の場合>

約3，400円（これに含まれるのは実習3日目までの昼・夕食費と宿泊費．他の食費，交通費は各自で準備のこと）

#### 10. 提出・問い合わせ先：

〒625-0086 京都府舞鶴市長浜無番地

京都大学フィールド科学教育研究センター 舞鶴水産実験所

電話：0773-62-5512 E-mail：maizuru@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

※ 実習への参加を希望される方はメール（[maizuru@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp](mailto:maizuru@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp)）にて早めに受講意思を連絡し，担当職員から必要書類を受け取ること．受け取った書類に必要な事項を記載のうえ，担当職員へメールを送付することで受付を完了とする．ただし，書類は個人情報を含むため，必ずパスワードをかけること．

#### 11. 実習日程と内容：

（註）天候の影響等で実習の内容は変更することがある．

##### <活動制限ガイドラインがレベル0の場合>

- ・舞鶴水産実験所で5泊する．

9月20日：西舞鶴駅「東口」14時00分集合\*

舞鶴水産実験所にて安全講習・シュノーケリング講習・施設見学 実験所で宿泊

21日：シュノーケリング調査 実験所で宿泊

22日：底曳網調査・分析・胃内容物調査 実験所で宿泊

23日：魚類行動実験 実験所で宿泊

24日：魚類行動実験（つづき）・発表会準備 実験所で宿泊

25日：発表会 昼食後に西舞鶴駅で解散

\*20日の集合前に各自で昼食をとっておくこと

#### <活動制限ガイドラインがレベル1の場合>

・舞鶴水産実験所で2泊し、実習期間を短縮する。

9月20日：西舞鶴駅10時15分集合\*

シュノーケリング講習・調査 実験所で宿泊

21日：舞鶴水産実験所 底曳網調査・分析・胃内容物調査 実験所で宿泊

22日：舞鶴水産実験所 魚類行動実験

西舞鶴駅16時20分散

23日：オンライン 講義・発表会準備

24日：オンライン 発表会

\*20日の朝に到着が困難な場合は、19日からの前泊を認める（別途、宿泊料900円）

#### <活動制限ガイドラインがレベル2マイナス(2-)以上の場合>

・実習は中止とする。

教育研究船緑洋丸に乗船し、舞鶴湾内外において水温・塩分などの海洋環境の測定を行い、観測機器の使用法を学ぶ。また、桁網（小型底曳網）を用いて底生生物（魚類・無脊椎動物）を採集し、種同定、形態観察、胃内容物調査を行うことで魚類についての基礎的知識を得る。シュノーケリングの基礎技術を習得し、若狭湾の沿岸に生息する魚類を中心とした生物の観察を行う。魚類行動実験では、魚が学習する一連の行動を観察し、行動観察のデータ解析をとおして魚類の生態に関する理解を深める。